

## 山口型放牧における放牧牛の省力的監視技術の開発 (放牧牛の脱柵防止に向けて)

山口県農林総合技術センター畜産技術部

「山口型放牧に関するアンケート調査」から、山口型放牧に興味はあるものの、「電気柵周辺の草刈り(漏電防止)」や「牛の脱柵」などに不安があり、「牛を遠隔で看視できる機械・システム」や「脱柵を防ぐ・知らせる機械」が欲しいという意見がありました。

そこで当部では、ICT 技術を活用して放牧牛を自宅等に居ながらにして監視することにより、脱柵の不安を和らげる技術を開発することにしました。

- 1) 放牧牛に小型センサーを付けて、GPSで牛の位置をスマートホンに通知し、脱柵しそうな牛をいち早く見つけられるようにします。
- 2) 電柵線の電圧を測る機器を使って、見回りをしなくても断線や漏電などの不具合をスマートホンで確認できるようにします。

以上の技術により、脱柵の不安や、電気柵の管理労力が軽減できます。

